共感され選ばれる企業になる！

～オウンドメディア×差別化の採用戦略～

根川 紗季

無断転載・複製禁止

Contents

- **「支持される会社」になるための若手採用の進め方**
  - Webメディア戦略「トリプルメディア」とは
  - オウンドメディア（自社サイト、ブログなど）の活用と効果
  - 新卒・第二新卒者に「自ら見つけてもらい、価値を感じてもらう」接点を作る
  - 【事例紹介】「支持される」ために他社が取り組んでいること
- **「支持される」ための差別化採用戦略**
  - 大手企業との差別化でターゲットを”絞る“
  - ４つのキーワード「企業理念」「地域貢献」「早期戦力」「自由度」
  - 【事例紹介】「差別化」のために他社が取り組んでいること
- **「支持される」ためのコミュニケーション**
  - 「リアル」（共感・対面）
  - 「スピード」（迅速な対応・柔軟性）
  - 「やりがい」（成長環境・早期戦力）
- **まとめ**：「オウンドメディア」の活用／「差別化」は既存社員へのPRも欠かせない

無断転載・複製禁止

「支持される会社」になるための若手採用の進め方

無断転載・複製禁止

支持されるとは？

「選ばれる」と「支持される」の違い

選ばれる
短期的
就活～内定

支持される
長期的
就活～入社後

無断転載・複製禁止

Webメディア戦略に向けてー「トリプルメディア」とは

Webメディア戦略と採用

インターネット上の様々な媒体を活用し、自社で運営するサイトや
SNSなどのオウンドメディアで求職者向け情報を発信しながら、
認知拡大から応募・ミスマッチ防止までを一貫して行う採用活動。

オウンドメディアとは、**自社サイト内のブログ、採用サイト、自社SNSアカウント**などを指す。
企業の魅力を直接発信し、求職者との相互理解を深めることで、
ミスマッチを減らす効果が期待できます。従来の求人広告に比べ、
企業文化や社員の声をリアルに伝えられる点が大きな特徴。

無断転載・複製禁止

企業の魅力を直接発信する方法の比較

会社説明会	メリット：直接対話でき、会社や社員の雰囲気を伝えやすい デメリット：接点を持てる相手・時間が限られる
動画説明会	メリット：時間・場所を問わず、繰り返し見てもらえる デメリット：一方向になりやすく、見つけてもらう工夫が必要
合同説明会／就活フェア	メリット：自社を知らない求職者とも接点をつくりやすい デメリット：限られた時間内で、伝えられる情報量も限られる
Webメディア戦略	メリット：新しい情報やメッセージを頻繁にアップロードできる デメリット：継続的な更新・運用が必要

採用における「トリプルメディア」とは

オウンドメディア（自社で発信する）

公式Webサイト／ブログ／Webマガジン／自社SNS／メールマガジン／広報誌 など

アーンドメディア（第三者から広がる）

企業が所有していないメディア。第三者による評価や拡散によって得られる露出を指す。

ペイドメディア（外部に依頼して発信する）

企業が広告費を支払い情報を発信するメディア。短期間で認知度を高めることができる。

無断転載・複製禁止

採用における「トリプルメディア」の比較

メディア	代表例	所有者	費用	主な目的
オウンドメディア	• 公式ホームページとは別の採用専用サイト • 社内の様子や経営者の想いを伝える採用ブログや企業SNS • 会社が発行するパンフレットや会報誌	自社	無料 または 低コスト	企業イメージ構築 企業ブランド構築 情報発信
アーンドメディア	• Googleマップやレビューサイト等での口コミ • テレビや新聞、雑誌等のメディア掲載 • SNSや掲示板での話題化	第3者	無料	信頼の獲得 情報の拡散
ペイドメディア	• GoogleやYahoo！で検索した場合やサイト閲覧時に表示される広告（リスティング広告やバナー広告など） • テレビCMや看板 • アプリ閲覧中に勝手に表示される広告（SNS広告）	広告 媒体	有料	認知の拡大 興味喚起 購買意欲アップ

無断転載・複製禁止

若手就活者の情報発信に活用できるSNS

Instagram
写真や動画を中心に情報を発信するSNS

★★★★★

10～30代を中心に利用
特に女性の利用率が高い

★ポイント★
職場の雰囲気や働く人、仕事内容を写真や動画でリアルに伝えられる。**視覚的効果が高い。**

X（旧Twitter）
短い文章や写真で情報を発信できるSNS

★★★☆☆

20～30代を中心に利用
男性の利用率が比較的高い

★ポイント★
会社説明会や現在の募集情報などを手軽で、タイムリーに発信できる。**即時性が高い。**

TikTok
短い動画を中心に、情報を発信するSNS

★★☆☆☆

10～20代を中心に利用
男女ともに若年層の利用率が高い

★ポイント★
ショート動画で職場の雰囲気や働いている人、仕事の内容が紹介できる。**拡散性が高い。**

オウンドメディア（自社サイト、ブログなど）の活用と効果

採用オウンドメディアの主な効果

ミスマッチの防止	主な業務内容や働き方、社員の考え方などを詳しく伝え、 入社後のギャップを減らすことにつながる
転職潜在層へのアプローチ	現状、すぐには転職を考えていないターゲット層（優秀層）に 自社を知ってもらうきっかけにつながる
採用コストの削減	短期的な採用効果ではなく、WEB上に発信が残るため、 中長期的に求人広告費の抑制につながる
採用ブランディングの強化	企業のビジョンやカルチャーを発信することで浸透が進み、 「共感する人材」を惹きつけることにつながる

採用オウンドメディアの活用と運用のポイント

ターゲット目線のコンテンツ
応募者のキャリアに役立つ情報発信

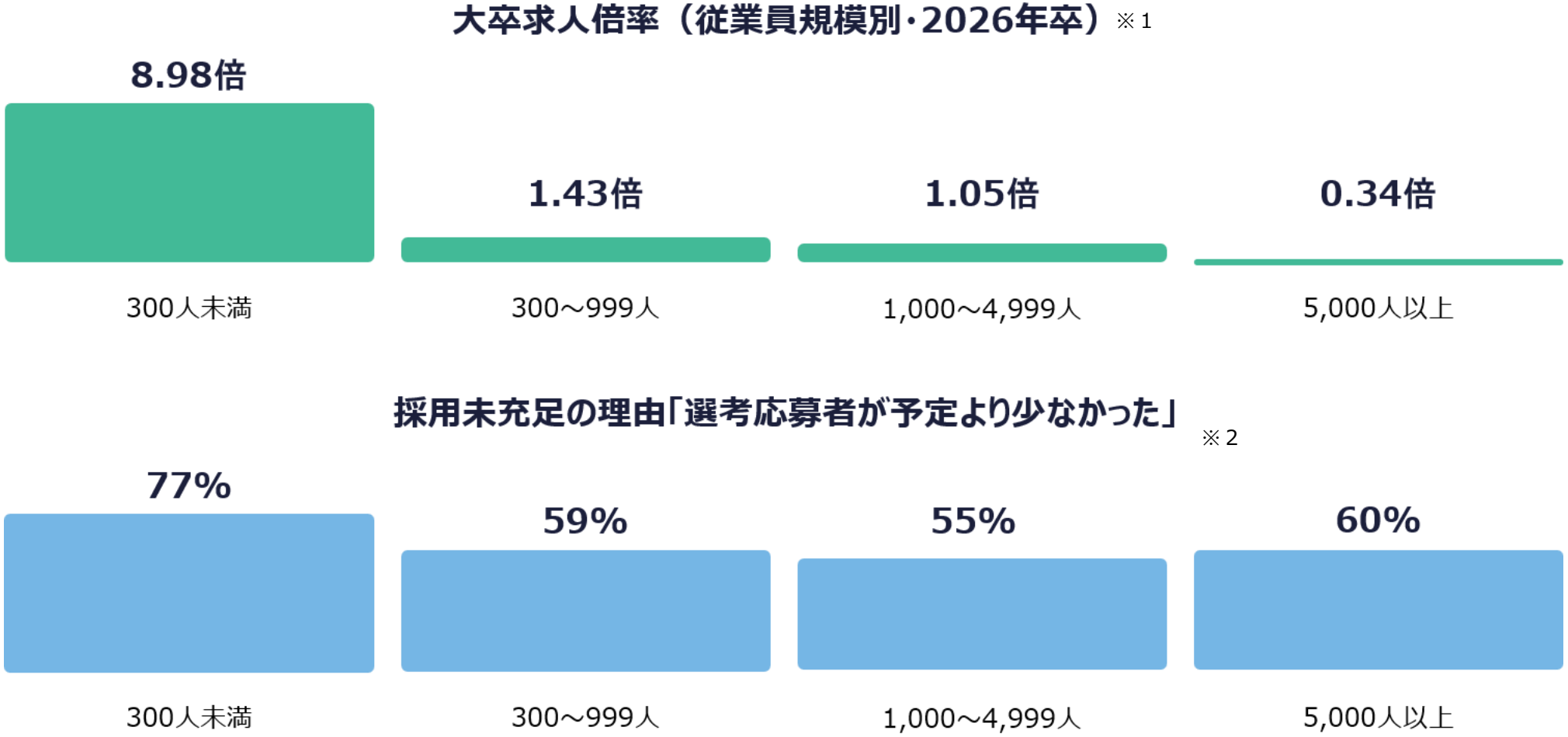
中長期的な継続
半年から1年単位で計画的に運用

既存サービスの活用
スピーディに始める方法で運用

無断転載・複製禁止

新卒・第二新卒者に
「自ら見つけてもらい、価値を感じてもらう」接点を作る

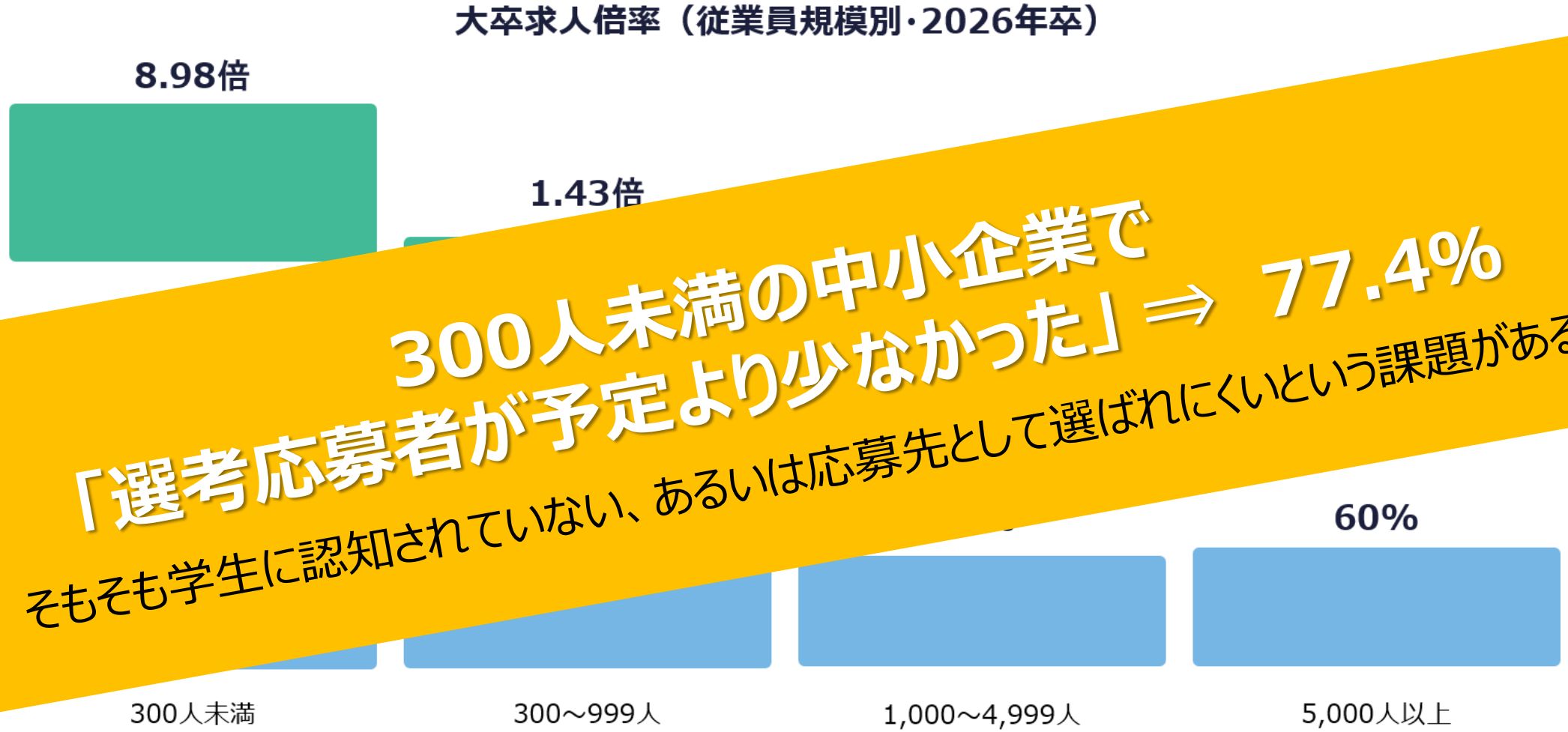
大卒の企業規模別の有効求人倍率



出典：※1　第42回 ワークス大卒求人倍率調査（2026年卒）リクルートワークス研究所 2025年4月24日公表：https://www.works-i.com/surveys/item/250424_recruitment_saiyo_ratio.pdf
※2　就職みらい研究所「就職白書2026」： https://jbrc.recruit.co.jp/common/images/mirai/uploads/2026/02/hakusho20260220.pdf

無断転載・複製禁止

大卒の企業規模別の有効求人倍率



300人未満の中小企業で
「選考応募者が予定より少なかった」⇒ 77.4%
そもそも学生に認知されていない、あるいは応募先として選ばれにくいという課題がある

出典：※1　第42回 ワークス大卒求人倍率調査（2026年卒）リクルートワークス研究所 2025年4月24日公表：https://www.works-i.com/surveys/item/250424_recruitment_saiyo_ratio.pdf
※2　就職みらい研究所「就職白書2026」： https://jbrc.recruit.co.jp/common/images/mirai/uploads/2026/02/hakusho20260220.pdf

無断転載･複製禁止

採用情報に関する情報収集の手段

(%)

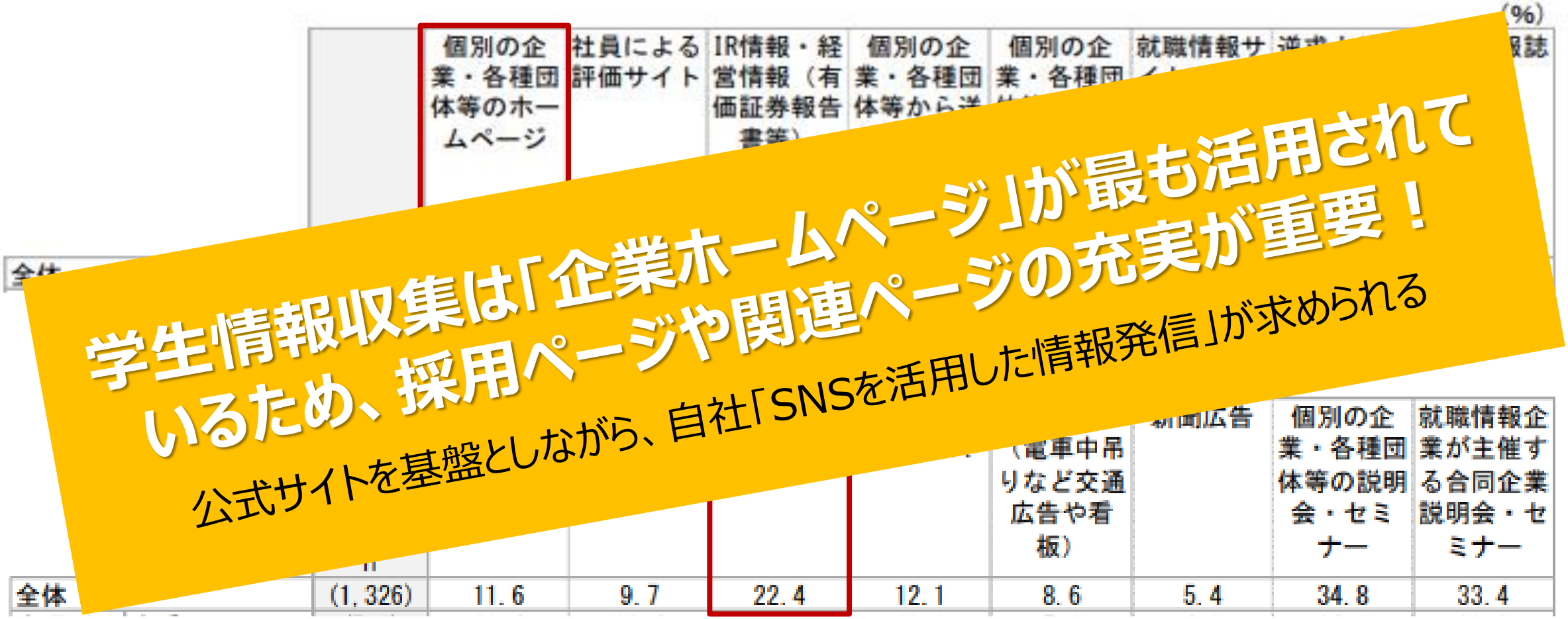
	n	個別の企業・各種団体等のホームページ	社員による評価サイト	IR情報・経営情報（有価証券報告書等）	個別の企業・各種団体等から送られるメール	個別の企業・各種団体等について紹介する、パンフレットや映像メディア	就職情報サイト、就職情報アプリ	逆求人やスカウトなど、ダイレクトリクルーティングサービス	就職情報誌
全体	(1,326)	75.2	33.7	18.1	17.2	13.2	45.6	12.3	11.4

	n	大学にある求人票	学生同士のコミュニティサイト	SNS	動画配信サービス	屋外広告（電車中吊りなど交通広告や看板）	新聞広告	個別の企業・各種団体等の説明会・セミナー	就職情報企業が主催する合同企業説明会・セミナー
全体	(1,326)	11.6	9.7	22.4	12.1	8.6	5.4	34.8	33.4

出典：『就職白書2026』データ集　学生調査2026年卒大学生・大学院生の就職活動に関する振り返り調査
https://shushokumirai.recruit.co.jp/wp-content/uploads/2026/02/hakusho2026_data.pdf

無断転載・複製禁止

採用情報に関する情報収集の手段



		個別の企業・各種団体等のホームページ	社員による評価サイト	IR情報・経営情報（有価証券報告書等）	個別の企業・各種団体等から送	個別の企業・各種団体等から送（電車中吊りなど交通広告や看板）	就職情報サイト	新聞広告	個別の企業・各種団体等の説明会・セミナー	就職情報企業が主催する合同企業説明会・セミナー
全体	(1,326)	11.6	9.7	22.4	12.1	8.6		5.4	34.8	33.4

(%)

学生情報収集は「企業ホームページ」が最も活用されているため、採用ページや関連ページの充実が重要！

公式サイトを基盤としながら、自社「SNSを活用した情報発信」が求められる

出典：『就職白書2026』データ集　学生調査2026年卒大学生・大学院生の就職活動に関する振り返り調査
https://shushokumirai.recruit.co.jp/wp-content/uploads/2026/02/hakusho2026_data.pdf

無断転載・複製禁止

就職活動で知りたいと思っていた情報

（%）

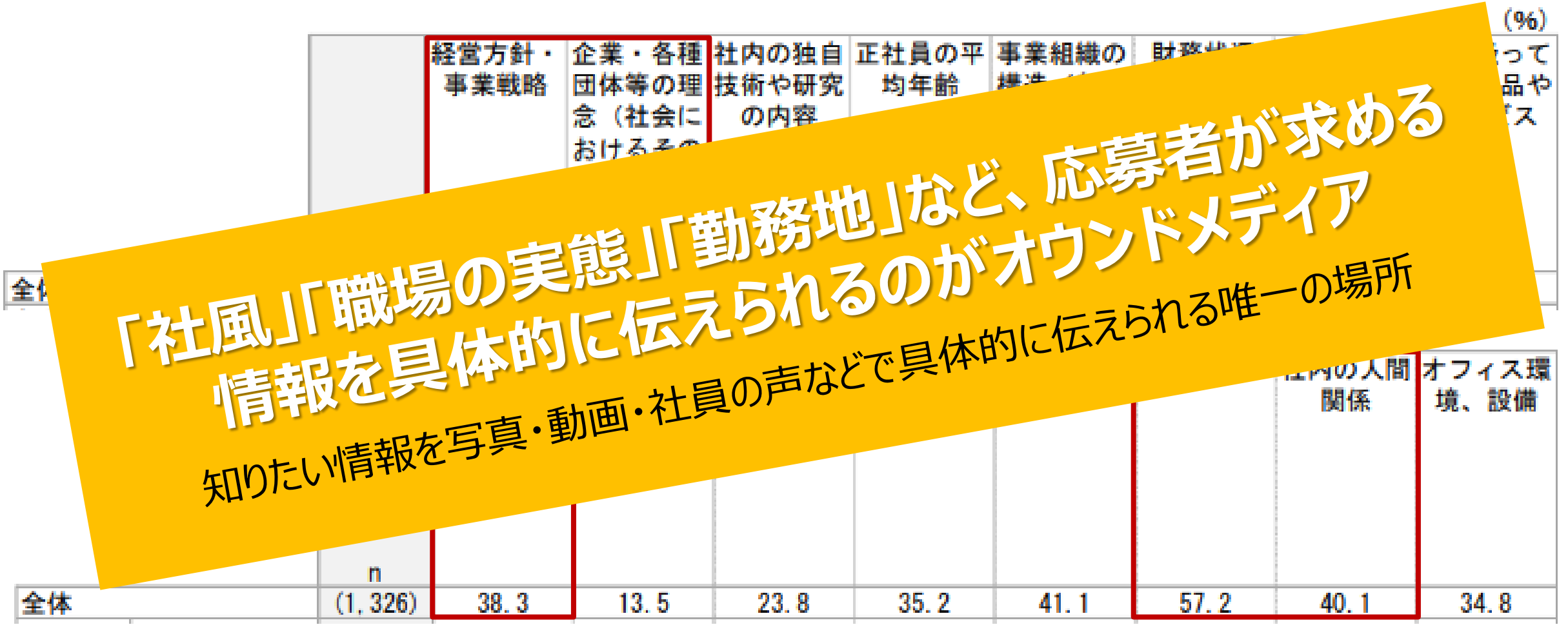
	n	経営方針・事業戦略	企業・各種団体等の理念（社会におけるその企業の存在価値）	社内の独自技術や研究の内容	正社員の平均年齢	事業組織の構造（部署など）	財務状況（売上・利益・資本などに関する状況）	社会貢献活動などの取り組み（CSR活動の実績など）	取り扱っている製品やサービス
全体	(1,326)	47.4	40.3	22.3	28.3	23.3	21.9	12.1	27.9

	n	社風・企業文化	女性役員の割合	男女別の従業員数	離職者数または離職率	平均勤務年数	勤務地	社内の人間関係	オフィス環境、設備
全体	(1,326)	38.3	13.5	23.8	35.2	41.1	57.2	40.1	34.8

出典：『就職白書2026』データ集　学生調査2026年卒大学生・大学院生の就職活動に関する振り返り調査
https://shushokumirai.recruit.co.jp/wp-content/uploads/2026/02/hakusho2026_data.pdf

無断転載・複製禁止

就職活動で知りたいと思っていた情報



	n	経営方針・事業戦略	企業・各種団体等の理念（社会におけるその	社内の独自技術や研究の内容	正社員の平均年齢	事業組織の	財務状	社内の人間関係	オフィス環境、設備
全体	(1,326)	38.3	13.5	23.8	35.2	41.1	57.2	40.1	34.8

（%）

「社風」「職場の実態」「勤務地」など、応募者が求める情報を具体的に伝えられるのがオウンドメディア

知りたい情報を写真・動画・社員の声などで具体的に伝えられる唯一の場所

出典：『就職白書2026』データ集　学生調査2026年卒大学生・大学院生の就職活動に関する振り返り調査
https://shushokumirai.recruit.co.jp/wp-content/uploads/2026/02/hakusho2026_data.pdf

無断転載・複製禁止

新卒・第二新卒者との接点を増やす
「自ら見つけて、価値を感じてもらう」

新卒・第二新卒者の情報収集は多面的な企業研究へと移行している。

企業HP
採用サイト

就活サイト

口コミ

SNS

友人・先輩・
社員の発信

生成AI

無断転載・複製禁止

「自ら見つけてもらい、価値を感じてもらう」接点をつくる

STEP 1
「知る」きっかけがある

- SNSで企業や社員の投稿を目にする
- 口コミサイト
- ナビサイト・合同説明会

STEP 2
情報を「深掘り」できる

- 企業の公式サイトを見る
- 社員インタビュー・ブログ
- SNSで日常の雰囲気を確認

STEP 3
納得して「応募」できる

- 「自分に合いそう」と感じる
- 他社と比較しても腹落ちする
- 自発的な応募・志望度アップ

ナビ掲載や合同説明会に依存するのではなく、応募者が自分で企業を発見し、理解を深め、
「自ら選んだ」と感じられる体験を提供することが、志望度向上と定着率向上の鍵となる

無断転載・複製禁止

【事例紹介】
「支持される」ために他社が取り組んでいること

【事例紹介】「社員のリアル」をコンテンツ化する

「社員のリアル」をコンテンツ化する

社員インタビューや1日密着を一つの**採用プロジェクトとして企画・運営**。複数の社員を巻き込みながら、**リアルな働き方や企業風土を発信**することで、**応募者の共感と信頼の獲得**につなげた。採用ページを活用し、**月に1回**社員のリアルな姿を伝えている。



事例１
IT企業
従業員数：120名



無断転載・複製禁止

※本スライド内の事例は、実際の企業事例・ヒアリング内容等を参考に再構成したものであり、特定企業を示すものではありません。

【事例紹介】「社員のリアル」をコンテンツ化する

事例１：IT企業

企業ホームページ内の**採用ページを活用**し、
社員インタビューや密着取材を通じて「働く姿」のリアルを発信。

【課題】
社内の雰囲気や仕事の魅力に強みがあるが、
求職者に伝わっていなかった。
【実施方法】
社員インタビュー動画や若手社員の1日密着、
成長ストーリーなどを継続的に発信。
【成果】
応募者数前年比2倍、内定承諾率は30%向上。



※イメージ画像（AI作成）

無断転載・複製禁止

【事例紹介】SNSを活用した採用ブランディング

SNSを活用した採用ブランディング

自社SNS（Instagram、TikTok）を採用広報の中心に据え、職場環境や業務内容が想像できるような**「リアル」**（本社オフィスの様子、店舗内での接客以外の仕事内容、社員同士のコミュニケーションなど）を**継続的に発信**。 結果、企業文化への共感を生み、**応募者との接点拡大**につなげた。



事例２
アパレル企業
従業員数：300名



無断転載・複製禁止

※本スライド内の事例は、実際の企業事例・ヒアリング内容等を参考に再構成したものであり、特定企業を示すものではありません。

【事例紹介】SNSを活用した採用ブランディング

事例２：アパレル企業

SNS（Instagram、TikTok）を採用の広報ツールとして活用し、
働く姿や職場のリアルな姿を社員が分担して毎日発信。

【課題】
企業名・ブランドの認知度が低く、企業文化や
働く魅力が応募者に伝わっていなかった。
【実施方法】
InstagramやTikTokで、店舗や商品の紹介とは
切り分けて、社員の日常や仕事の裏側を発信。
【成果】
SNS経由応募30%、応募者数前年比2倍。





※イメージ画像（AI作成）

無断転載・複製禁止

事例を参考にしたはじめの一歩

今ある「採用発信」を確認する	公式HP、求人媒体、SNSなど、現在はどこで・どんな情報を発信しているかを整理する
「何を伝えたいか」を決める	社員の声、仕事の内容、職場の様子など、求職者に伝えたいことを一つに絞る（決める）。
「どこで伝えるか」を決める	公式HPや求人媒体、SNSなど、今あるもの、無理なく始めやすいものから発信する
「誰がやるか」を決める	社内で発信担当者を決める。難しい場合は外部の専門家を活用するなど、継続できる体制を整える

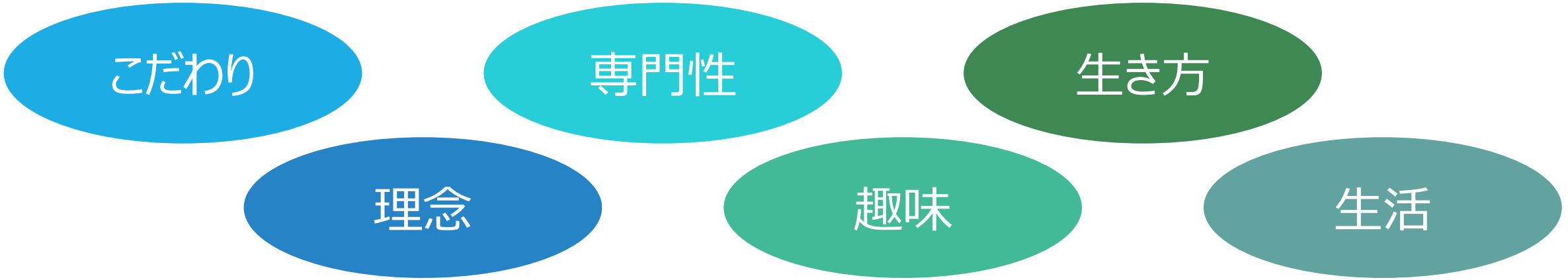
「支持される」ための差別化採用戦略

大手企業との差別化でターゲットを"絞る"

大手企業との差別化でターゲットを”絞る“

ターゲットを「誰でもいい」から**思い切って絞り込む**

特定の価値観やライフスタイルを持つ人物



無断転載・複製禁止

４つのキーワード「企業理念」「地域貢献」「早期戦力」「自由度」

キーワード①　企業理念

知名度や待遇の競争ではなく、**自社独自の価値観や働く意義**
を言語化し、共感する人材を惹きつける**「理念採用」の徹底**

理念採用（理念共感型採用）とは、**企業のミッション・ビジョン・バリューや価値観に共感する人材**を、積極的に採用できる手法
入社前から「帰属意識」を高まった状態を継続的に保てる

ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）は明確ですか？

無断転載・複製禁止

キーワード②　地域貢献

自社の事業がどの地域で、どのように**地域社会に役立っている**
かを具体的に伝える**「地域貢献」の打ち出し**が非常に有効

創業の背景や地域の課題解決にかける思い、大手では得にくい、
自分の仕事が**地域の人々の笑顔に直結するやりがい**をアピール
企業がどのように利益を上げながら社会課題に取り組むか

地域社会の課題解決への関わりは明確ですか？

無断転載・複製禁止

キーワード③　早期戦力

「早く成長したい」「若いうちから仕事を任されたい」という**優秀層に刺さるアピール方法**であり、それを**実現する体制が魅力**

少数精鋭の中小企業だからこそ、会社全体の流れを見渡せる
幅広い業務に携わり、圧倒的な回数の**実践経験が積める**
入社1年目から1つの担当を持たせ、責任感を養う

早期戦力化の支援体制は整っていますか？

無断転載・複製禁止

キーワード④　自由度

大手企業の「安定」「社会的信用」に対し、「自分らしく働きたい」「新しいことを試したい」などの**欲求を満たす自由度が魅力**

自由度とは、**時間**（ワークライフバランス）、**仕事**（裁量権）、**場所**（リモートワーク）、**キャリア**（配属・昇進）の**４つが有効**
高い自己管理能力と責任感を養われる

４つの自由度の中で「なに」をアピールできますか？

無断転載・複製禁止

【事例紹介】
「差別化」のために他社が取り組んでいること

【事例紹介】「差別化」のために他社が取り組んでいること

事例１【企業理念】

印刷メーカー

従業員数：65名

若手世代を意識したパーパスを、**自社ホームページのトップページ**で発信。**「一人ひとりの挑戦を、社会を変える力に」**という自社ならではの価値観を打ち出し、**「成長できる」**だけでなく**「仕事を通じて社会に貢献できる」**という魅力を伝えることで、他社との差別化につなげている。

事例２【地域貢献】

IT企業

従業員数：120名

自社ホームページのSDGsコーナーで、**自治体のデジタル化支援**や、**IoT・AI・ドローンを活用した一次産業の省人化**、**鳥獣被害対策**など、地域課題への具体的な取り組みを発信。**自社の技術が地域でどう役立っているかを見える化**し、「地域貢献」を自社ならではの魅力として伝えている。

無断転載・複製禁止

【事例紹介】「差別化」のために他社が取り組んでいること

事例３【早期戦力】

食品商社

従業員数：95名

若手でも商品企画や海外営業などを任せる**「早期から挑戦できる環境」**を、**自社SNS（Instagram）**で実際の仕事内容や社員の声とともに発信。**「若いうちから成長したい」**という学生に自社ならではの魅力を届け、他社との差別化につなげている。

事例４【自由度】

広告代理店

従業員数：40名

従業員の声をもとに、週2回以下の在宅勤務や条件付きフレックスタイムを導入。**自社ホームページ内の採用ページ**では、制度だけでなく**実際の利用例**や**社員の声を紹介**し、**ナビサイト**にも展開。柔軟な働き方を具体的に伝え、自社ならではの魅力を発信している。

無断転載・複製禁止

「言語化した「自社の魅力」を採用活動につなげる

STEP 1
「知る」きっかけをつくる

「こんな会社がある」と気づいてもらう

- 社員の仕事風景や職場の様子を写真と短いコメントで発信する。
- 専門用語を避け、初めて見る人にも仕事内容や魅力が伝わる言葉で発信する

STEP 2
情報の「深掘り」を促す

「この会社らしさ」を理解してもらう

- 採用ページに社員インタビューを掲載する
- 言語化した自社の魅力を具体的な事実・エピソードと一緒に掲載する

STEP 3
納得した「応募」を促す

判断できる情報を出す

- 絞り込んだターゲットが「自分に合いそう」と感じる言葉を、採用ページや発信内容に入れる
- 応募・説明会の申込などの次の行動にスムーズに進めるか確認する

「見つけてもらうための発信」と**「見つけてもらった後の動線」**の両方を整え、
応募ターゲットに自社の魅力を届け、**納得した応募**につなげることが大切です

無断転載・複製禁止

「支持される」ためのコミュニケーション

1．「リアル」（共感･対面）

新卒社員が登壇する会社説明会	**登壇者**：2年先輩の新卒社員目線で会社を紹介する
	質疑応答：面接では「聞きづらい質問」を回答する
体験型インターシップ	**リアル体験**：実際の職場で、作業を一部体験する
	インタビュー：先輩社員から働きがいや苦労など聞く
フォローアップコミュニケーション	**コミュニティ**：内定者（同期）／先輩社員との仲間づくり
	対面とオンラインとの併用：回数を増やす方法を優先する

無断転載･複製禁止

2．「スピード」（迅速な対応･柔軟性）

日程調整ツールを導入／リードタイムの短縮	**即時対応**：書類選考や面接結果は当日～翌日に出す
	ツールの活用：カレンダーの予約機能や採用管理システムを活用
面接フローと評価基準の見直しと徹底	**フォーマット化**：「面接評価シート」の定義し、活用の徹底
	フローの圧縮：最終面接のみ対面など、最短化を図る
辞退を防ぐコミュニケーション／モチベーション維持	**スピーディーな連絡**：面接後3日以内の結果連絡（ルール化）
	面接での惹きつけ：自社の魅力を伝える「口説き」の場

無断転載･複製禁止

３．「やりがい」（成長環境・早期戦力）

経営者の発信と行動を変える	**ビジョンの言語化**：経営者自らの言葉で何度も繰り返し伝える
	率先垂範： 新しい社風を経営者自身が体現することが不可欠
変革を推進するコアチームの構築	**若手の登用**：柔軟な発想を持つ社員で変革推進チーム発足
	小さな社風改革： 小さな成功体験を積み重ね、浸透させる
ルールと仕組みへの落とし込み	**人事評価制度の刷新**：新しい社風を評価軸にする仕組みを作る
	交流の活性化：部署を超えた心理的安全性の高い場を設ける

無断転載・複製禁止

本セミナーのまとめ

無断転載・複製禁止

「自ら見つけてもらい、価値を感じてもらう」接点をつくる 【再掲】

STEP 1
「知る」きっかけがある

- SNSで企業や社員の投稿を目にする
- 口コミサイト・友人の話
- ナビサイト・合同説明会

STEP 2
情報を「深掘り」できる

- 企業の公式サイトを見る
- 社員インタビュー・ブログ
- SNSで日常の雰囲気を確認

STEP 3
納得して「応募」できる

- 「自分に合いそう」と感じる
- 他社と比較しても腹落ちする
- 自発的な応募・志望度アップ

ナビ掲載や合同説明会に依存するのではなく、応募者が自分で企業を発見し、理解を深め、
「自ら選んだ」と感じられる体験を提供することが、志望度向上と定着率向上の鍵となる

無断転載・複製禁止

「自ら見つけてもらい、価値を感じてもらう」接点をつくる 【再掲】

STEP 1
「知る」きっかけがある

- SNSで企業や社員の投稿を目にする
- 口コミサイト・友人の話

STEP 2
情報を「深掘り」できる

- 企業

STEP

志望度アップ

オウンドメディア×差別化の採用戦略の鍵は、
自社の「差別化」を既存社員へも積極的にPRし、
会社全体で「自社の強み」に自信を持つこと

るのではなく、応募者が自分で企業を発見し、理解を深め、
感じられる体験を提供することが、志望度向上と定着率向上の鍵となる

無断転載・複製禁止

Thank you

無断転載・複製禁止